授業科目名	開講年次	開講時期	単位数	時間数	実務経験
哲学	2年次	後期	1	15	有

科目責任者	髙梨俊毅
授業概要	「生老病死」に関わる現実的現象を通して、人はこの世にいかに存在し、いかに生きていくべきかを哲学的に問いかけていくと同時に、現代哲学の諸課題に対する有力な視座と言われる「臨床の知」への理解・認識を深めていく。
目標	1.「生老病死」現象との出会いを通して、人間存在の有り様を考えることができる。 2. 帰納法的な哲学思考を自己内化していくことができる。

授業内容

回	内容	担当	授業方法
1	「内省・観・知」の学としての哲学事始	髙梨	講義
2	「私」はこうしてこの世に生まれ出た	髙梨	講義
3	生きることへの「私」の問いかけ	髙梨	講義
4	「部分としての死」への「私」の問いかけ	髙梨	講義
5	医療ケア現場現象との出会いを哲学する	髙梨	講義
6	医療ケア現場現象との出会いを哲学する	髙梨	講義
7	医療ケア職の先達から現代哲学の諸課題を学ぶ	髙梨	講義
8	(「私」の)医療ケア人生を哲学的にイメージする	髙梨	講義

履修条件	なし
テキスト	講師の提示する資料
参考書	参考図書は、講義を通して随時紹介
評価方法・基準	毎回教材読解メモ６０点：まとめ（考査）レポート４０点